

広報「みやわか」が、あなたの生活に欠かせない「話題」と「情報」をお届けします

宮若生活

Public Relation Magazine Miyawaka city



ママへ はなはママから教えてもらったみそ汁づくりを毎日がんばっています

特集 食卓が揺らいでいる

— あなたは大切な人に何を遺のこしますか —

12

2012

NO.083

調理：安武はな
みそ汁：宮若産のさつま芋となすび
安武家自家製みそ

約束

ママと交わした

A promise with a Mama.

安武千恵さん

Chie Yasutake

大学院で声楽科を修了後、音楽教諭に。闘病中にブログ「早寝早起き玄米生活」を立ち上げる。平成20年7月11日死去。

安武はなさん

Hana Yasutake

平成15年2月20日生まれ。得意科目が音楽の小学校4年生。趣味はピアノとカラオケ、料理。

ある一冊の本の大きな反響はこの豊かな日本で、食とそれを取り巻く環境が大きく揺らいでいることに、警笛を鳴らしているのかもしれない。

その一冊とは「はなちゃんのみそ汁」。

25歳で乳がんの告知を受け、28歳ではなちゃんを出産。33歳の若さで亡くなった安武千恵さん。「病気になるまで食について深く考えることなく、便利で安いものばかりでした」と、夫の信吾さんは話します。娘には、元気でたくましく生きてほしいという二人の願いから始めたことが、みそ汁づくりでした。母と交わした約束の「みそ汁づくり」は、今もなお続いています。

私たちが、「はなちゃんのみそ汁」から教えられることはなんなのでしょうか。

そして、宮若市で生まれ育った信吾さんだからこそ気づき、語れることは……。

食卓から見える宮若市の本当の豊かさについて、考えます。

安武信吾さん

Shingo Yasutake

大学卒業後、西日本新聞社に入社。各地で記者を経て現在、企画事業局ソーシャル事業部に勤務。宮若市出身。

特集

食卓が揺らいでいる — あなたは大切な人に何を遺しますか —



慣れた手つきでかつお節を削り出すはなちゃん。「あー、ちょっと削りすぎたみたい」「大丈夫、卵焼きのだし汁に使うから。すごくおいしいよ」と、信吾さん。



この日の昼食は宮若のさつま芋となすびが入ったみそ汁に白ご飯。卵焼きにポイルしたソーセージ。いりごとレンコンを炊いたもの。そして納豆。「卵焼きは今までで1番おいしいよ」と、絶賛する信吾さん。

「忙しいからといってほぼ毎日、コンビニの弁当やカップラーメン、菓子パンなどを食べて生活してしました。そして病気に。便利だからといって疑問を持たず生活していたツケだったので。自分の病気の原因を突き詰めていくと、常識と生きていたことが実は、本質からずれているのではないかと考えるようになってたのです。

それからです。自分たちで作れるものは自分たちで作るようにしたのには。

みそは食を学ぶのに一番わかりやすいと思っています。麹菌が大豆を分解し、そして食べ物になっていきます。どんどん変わっていく過程



はなちゃんがみそ汁をつくるすぐそばで見守る信吾さん。「さつま芋は硬いからパパ切って」と、はなちゃん。「さつま芋となすび、どっちを先に鍋へ入れる?」と、信吾さん。台所の2人の会話から、はなちゃんがみそ汁を作ることは何も特別なことをしているのではなく、安武家ではごく自然なことだということが伝わってきます。

愛する我が子が強くたくましく生きていくために...

みそ汁づくりを「学ぶのではなく、みそ汁づくり」で「学ぶんです」

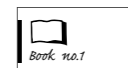
「シュツ、シュツ、シュツ」。心地良いリズムで、かつお節を削り出すはなちゃん。取材に訪れた11月11日、昼食を一緒にさせていただくことに。手際よく料理を進めていくはなちゃんを、そっと見守る信吾さん。母と交わした約束をしっかりと刻んでいるはなちゃんは何を経験し、学ぼうとしているのでしょうか。くしくもこの日は、千恵さんの月命日の日。信吾さん自身の病気や千恵さんのがんという体験から語られる一言、一言に迫ります。



安武家に伝わる自家製のみそ。「みそづくりは食の教科書なんです」と、話す信吾さん。そこにはどのような思いが込められているのでしょうか。

母の想い、夫の憶い、そして娘の思い

Topic 1 著書紹介【図書館にも蔵書】



「はなちゃんのみそ汁」
文藝春秋
1,365円



「娘・はなへー ママが遺したいのちのレシビ」
角川書店
1,470円

を知ることができません。いい香りも漂ってきます。食べられなかったものが食べられるように変化させる。みそは、生きているということを実感できるんです。はなのみそ汁はカスも全部使います。

それは自分のみそづくりを経験しているから、最後まで大切に使うという感謝の気持ちからです。みそづくりは『食の教科書』とぼくは思います。

野菜も同じです。今、佐賀で毎週末農業をやっています。夏は蚊に刺されながら炎天下の中で収穫します。冬は寒い中でも作業をし、大雨が降れば心配になって畑を見に行きます。草刈りなど管理を通して、やっと野菜が育ちあがるのです。ぼくも娘も自分でそれを経験したからこそ、ニンジン一つをとっても切ればしまで使います。野菜の命に感謝することを学んでいます。

ぼくは、みそ汁づくりを学ぶのではなく、みそ汁づくりで学んでほしいんです。『を』と『で』では大きく違います。みそづくりや農業を通していろいろなことを体験し気づき、学んでいます。

ものに感謝する思いはありません。食卓に並ぶものには、それぞれに生産者がいて、食べるということは、そこに携わる人が費やした時間に感謝すること。つまり食べ物だけでなく、その人たちの生きている時間をただくことと同じことです。

だからこそ、自分自身が経験し、いかに大変なことを知る必要があるのです。農業で学ぶことはまさにそこにあるように感じます。

よく小学校の授業の中で田植えの体験をする学習があります。でも、そこでは土をすいたり、除草をしたり、一番大変なところが省かれている場合があります。

お米農家の皆さんは、農業の前に田んぼに捨てられた空き缶を拾うところから始まります。これはとても大変なことです。実際にやってみれば思っている以上に捨てられていることを体験するはずですよ。

そこで気づくのです。誰がこんなに捨てているのかということ。田んぼに落ちた空き缶を拾った人は絶対にポイ捨てすることはないでしょう。環境問題も『田植え』の一つから学ぶことができるのです。

自分の病気や妻のガンから本当に多くのことを学びました。

子育ての中で食卓から学ぶことがすべてだとは思いませんが、力強く生きていくために必要なことを一番教えてくれるように感じます」。



お昼がコンビニの弁当だったら、夜は野菜を多めの手作り料理を出してみる。赤ちゃんを抱きしめるように、家族を食で「抱っこ」してほしいですね。

柴田多恵子さんが食育20年の中でみた変わったこと、変わらないもの

Interview

柴田多恵子さん【しばたえこ】

- ① 昭和27年に開業した湯原荘。脇田温泉の中で1番初めに旅館を開業。
- ② 部屋の一部には犬鳴御別館の板戸もあり築100年以上の屋敷。野菜の人形をつかった劇を行う「ベジタブル」の代表であり、福岡県家庭教育アドバイザーなど多岐にわたって活動する柴田さん。「無理をせず、あせらずばちばちやるのがコツなんです」と話します。
- ③ 今年2月に母を亡くし、完全に旅館業を受け継ぎながら「田んぼと食のかかるた」などユニークな教材を製作。笑いのある食育を目指します。「母の味、おふくろの味を継承しながら食育を行っていきたいですね。まだまだ勉強中ですよ」。

【注1】 農林水産省公式ホームページ内にある「食料自給率の部屋」内にある地域食料自給率計算ソフトを活用したもの。JA直轄や産直施設の協力のもと、各種データを記入し自動算出したものです。



親の背中から伝えられる「おふくろの味」があるんよ

百十一パーセント。これは平成23年度の生産量からみる宮若市の地域食料自給率の数字です【注1】。国が三十九パーセントの状況と比較しても、私たちのまちは農産物が豊富であることを裏付けています。そこで脇田温泉でもっとも長い歴史をもつ湯原荘の女将、柴田多恵子さんに食育事業に二十年携わってきたなかで変わったこと、変わらざるものについて伺います。

「幼稚園と小学校のつながり」を食育から考える

Topic 2 宮田南幼稚園、宮田南小学校連携事業

県の重点課題研究校の指定を受け、「学びをつなぐ幼小連携のあり方」を研究主題として取り組む宮田南幼稚園と宮田南小学校。その取り組みの1つとして食を通じた交流を進めています。10月25日、幼稚園、小学校の保護者を対象に園児や児童が食べている給食の試食会と食育講座を行いました。幼・小の保護者の交流も目的の1つです。幼稚園から小学校への就学を「食」などをテーマに研究を進めています。



栄養士の高野沙織さんが幼児期、児童期の栄養について講義。参加者はメモをとりながら学びを深めていました。

「お子さんをたくさん遊ばせた後、炭酸飲料を一気に飲ませてしまいうよりもその量を半分にして、冷えたキウイやトマトを出してみればどうですか。トマトは体を冷やす食べ物ですから。」皆さん、いいですねその笑顔。その笑顔のまま、食卓を囲みませんか。

全国で食育活動を展開している柴田多恵子さん。生野菜を使った人形劇などを通して食育活動を行っています。これまで二十年間の活動を通して食育環境の変化を目の当たりにしてきたとのこと。

える宮若市は水がおいしい、空気もおいしい。だからそこで育つお米や農作物はもつとおいしいのです。一度東京で生活したことがあるからこそ、この宮若の良さが身に染みてわかります。実際に野菜づくりの経験を通して楽しさと同時に自然の本当の厳しさも体験しました。この豊かな環境の中で育った野菜は本当においしいです。お客さんにも旬の野菜を使いますが、調味料はほとんど使いません。そんな環境で生活すれば健康になりますし、自然と心にも余裕ができるんです。毎日食べるものですからね。

子はあなたの背中をしっかりと見ている

「食育に携わってずっと変わらないもの、それは子どもたちの視線ではないでしょうか。子は親の背中をいつも見えています。台所に立つ両親の姿がそこになかったら、その子どもたちが大人になったとき、どのようになっているのかわかりません。

『みそ汁をつくるときは前の日から昆布をつけていたような…』とか『具にはわかめやとうふが入っていたな』など、自然とそこに母の姿などを思い出しているはず。今、おふくろの味が無くなりつつあります。その原因の一つに、親の背中を見せることが少なくなってきた

「皆さんから笑顔や余裕がなくなってきたね。そのためか、食卓にも笑顔が少なくなっている感じがします。忙しいのはわかりますが、食事中も携帯電話をしながら食卓を囲むほど本当に忙しいのでしょうか。とても残念なことです。

私はどの講演でも心掛けているのは笑顔で食育をすることです。生野菜を使った人形劇もその一つ。なぜ、野菜を使ったかといえば身近にあったからです。実はそのことがとてもぜいたくなことなんです。食料自給率が百パーセントを超

ことがあるのではないのでしょうか。ある食育教室では、おむすびを作ってくることになっていました。あるお母さんはおむすびの中にチョコレットを入れてきたのです。あまりに簡単なことが、簡単過ぎてわからないのだと思います。

『食育』という言葉すらない時代に比べ、食育を取り巻く環境は確実に進化し、そして複雑化しています。だからこそ、私はもう一度原点に返る必要があると考えています。

難しいカロリー計算なんて今すぐには必要ありません。みんなであなただ自身が笑顔であることがスタートではないでしょうか。食育を始めるのに早い遅いはありません。今日からだっていいのです。

子どもと一緒に台所に立つのもいいですし、子どもだけでなく介護を受けている人だでもいいのです。食育は子どもだけのものではなく老若男女、誰でも大切なことです。包丁を持たせるのに危ないと思うかもしれませんが、高齢者にとっては脳の活性化につながります。母の介護の経験から私も学びました。三食しっかりと食べて運動する。自然豊かで新鮮な農産物を生み出すことができる宮若だからこそ、気づいて発信できるのです。食育を通してこの貴重な環境も守っていきたいですね。」

郷土料理を受け継ぎ、本当のふるりの味を知ってほしい

野菜たっぷりの郷土料理で おなかいっぱいにしてみらんね

女性農業者たちのつながりを通して、失われつつある郷土料理を受け継いでいく活動に力を入れている「宮若市食と農を考える女性の会」。郷土料理の魅力を発信して6年目を迎えた今、その取り組みはさらなる広がりをみせています。



テレビで宮若の郷土料理を チェック!

Topic 3 RKB毎日放送・よんDay
毎週木曜日にRKB毎日放送、4チャンネルを合わせて「dボタン」を押してください。表示された項目から地産地消メニューに進んでいただくとレシピと写真が紹介されています。(テレビの機種によってdボタンの位置が異なります)



期待を寄せられながら、発足しました。

「まずは、このまちの子どもたちに本当のふるりの味を知ってもらいたいと思っています」。

初代会長の安田紀久子さんは、発足式でのあいさつの中でその胸中を話してくれました。

それから六年。少しずつ郷土料

時計は午後7時30分過ぎ、若宮コミュニティセンター「ハートフル」の調理室からにぎやかな声が漏れてきます。

11月13日、宮若市食と農を考える女性の会の皆さんの定例会が始まろうとしていました。それぞれ持ち寄った食材を吟味しています。

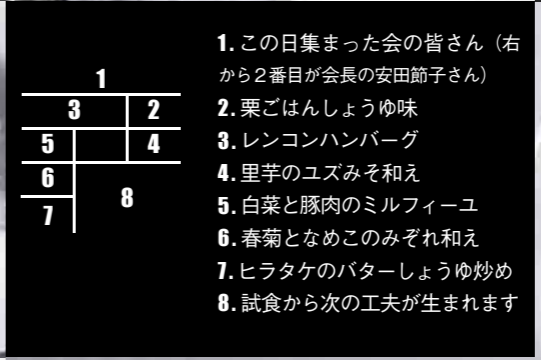
宮若市食と農を考える女性の会は市が誕生した

のをきっかけに、女性農業者の横のつながりや行政との連携を図るために組織されたものです。

今、失われつつある郷土料理の継承や次代を担う子どもたちに伝える地元の味、生産者と消費者のパイプ役としての情報発信などの、周囲からも高い

1	2
3	4
5	6
7	8

1. この日集まった会の皆さん(右から2番目が会長の安田節子さん)
2. 栗ごはんしょうゆ味
3. レンコンハンバーグ
4. 里芋のユズみそ和え
5. 白菜と豚肉のミルフィーユ
6. 春菊となめこのみぞれ和え
7. ヒラタケのバターしょうゆ炒め
8. 試食から次の工夫が生まれます



工夫と新鮮な農産物が あるからできること

「本場に私たちが作るような料理でいいのかなと思いましたが」と、話すのは現在会長を務める安田節子さん。

「私たちにとって常識と思っていることも、他の地域の皆さんから見ると、宮若は新鮮な農産物がたくさんあるイメージなのかもしれませんね。私たちは四季折々に収穫される農産物や自然の恵みである山菜を中心に郷土料理を作ります。こうやって大人数で作ることで、いろいろな意見が出て、同じ食材を使ってもそのバリエーションはとても豊富

なように感じます」。

調理開始から一時間が経過する頃にテーブルには十品以上の料理が出来上がっていました。

「どの料理も宮若でとれた新鮮な農産物を生かしたのようになっていきます。こうやって出来上がったものを

郷土料理でおもてなし

Topic 4 JR九州ウォーキング「脇田温泉コース」



9月23日、脇田地区を舞台にJR九州が主催するウォーキング大会が行われ、過去最高の500人を超える皆さんが参加しました。このウォーキングの特徴の1つが地域の皆さんが所々で郷土料理を振る舞うこと。この料理を楽しみに参加する人が口コミで広がっています。地域を挙げて、宮若の郷土料理の発信に取り組んでいます。



うちらが一生懸命作った野菜が あの世界のトヨタに納品されとんよ



このまちが農業に適した環境とはいえ、生産者も試行錯誤を重ねています。今年の7月からは、トヨタ自動車九州株式会社に農産物を納品し、社員食堂で使われることになりました。新鮮な野菜と旬に合わせた調理で従業員からも好評とのこと。高品質な自動車づくりに携わる社員の胃袋を、宮若の農産物が満たしています。

「うれしいよね。メニューと一緒に私たちの写真まで飾ってあるなんて。もっと良いものを作ろうって気になるよね」。食堂入口のメニューに足を止めて話すのは特産品直売所「ドリームホープ若宮」の副館長、安河内誠二さん。

11月13日、トヨタ自動車九州株式会社の食堂では市内の生産者が育てた農作物などを使った一品がメニューに上がる地産地消デー。今年の7月から始まったこの取り組みは地元農産物の地産地消を進めていく一つで、今回初めて生産者の皆さんを招待することになったのです。

春菊を出荷した因テルヨさんは、「実は初めてトヨタ九州に入ったんですよ。近くにあつてもなかなか足を運ぶことがなくて。このような試食の機会をもらってとてもうれしいです」



宮田工場には3つの食堂があり、エムサービス株式会社とトヨタ生活協同組合の2社が運営。地産地消デーの取り組みをサポートしていただいています。



連携協力に関する協定書調印

平成22年4月2日、本市と宗像市、トヨタ自動車九州株式会社の3者が連携協力についての調印を交わしました。これをきっかけに、今まで以上に積極的に取り組みを加速させていくことになりました。

1. 自動車づくりで培った技術を生かして子どもたちへプレゼント



幼稚園や保育所などの遊具補修

幼稚園や保育所、児童遊園にある傷んだ遊具を塗装していただくこと。おかげで、子どもたちも安心して遊べるようになりました。

2. 1人ひとりの思いやりがカタチに地域福祉の向上へ



車椅子を障がい者施設に寄贈

社内のプルタブを収集して車椅子を購入。老健施設や障がい者が生活する施設に寄付していただきました。

3. 企業と地域住民、そして行政が共にコミュニケーションを深化



彼岸花を犬鳴川河川公園に植樹

市民の皆さんとともに、彼岸花の植樹を手伝う社員の皆さん。企業と地域住民、そして行政が連携した交流を進めています。

「丹精込めて育てた野菜がどのように調理されているか楽しみにしている様子。」

この事業を担当するトヨタ自動車九州株式会社、社会貢献推進グループの高松かおりさん。

「地域の皆さんとトヨタ九州がより身近な関係になっていただくことが大切です。この二年間でさまざまな取り組みを進めてきました。その中でも宮若の豊富な農産物をどうにか生かせないか、協議を重ねてきました。このように実現できたことが本場にうれしいです」と、喜びの声を聞かせてくれます。

この日は宮若産のニンジン、さつま芋、春菊が入ったエビかき揚げ丼。別の食堂ではキムチと白菜を生かした豚キムチ炒めがメニューに追加されました。一日三千人以上が利用する社員食堂。お米もその七割ま



「量もあっておいしいです。帰ったら妻にもこの味を伝えたいです」。さつま芋を出荷した山近平八郎さん。



「実際に食べてみて、もっとがんばろう、おいしいものを提供しようと意欲がわきます」と、因テルヨさん。

で宮若のものに引き上げているとのこと。高松さんは、この地産地消の取り組みのさらなる展開を考えていました。

「宮若の郷土料理を提供できないかと考えています。今は、素材を提供していただいています。そこからもう一歩進めて、これまで受け継がれてきた郷土料理をここで提供できるようにになれば、社員にとってもこのまちをより知ることができるとはならないかと思えます。実現には多くの課題がありますが、カタチにしていきたいですね。」

地産地消の取り組みを今後も継続して続けていくためには、生産者の皆さんと連携して情報を共有していくことが何より大切と話す高松さん。

生産者の窓口になっているのがドリームホープ若宮の館長、毛利一己

「自分たちの野菜がおいしく調理され、皆さんの活力になっていくのを目の当たりにできて、本当に良かったです。このような取り組みが進んでいけば、若い農業者の発掘や育成にもつながっていく、後継者不足を解消していく一つになることを期待しています。」

自動車づくりと農業。一見、相反するものに見えますが、私たちのまちでは、どこにもない新しい関係から宮若らしい地産地消モデルを作り上げようとしています。

“モッタイナイ”プロジェクトも進行中

Topic 5 「モッタイナイ」の1言から地域と人を結ぶ



平成22年に立ち上がったこのプロジェクトは、生産者と県内トヨタグループが連携して取り組んでいるもの。地域の規格外の野菜を車両を運送し終わったキャリアカーを活用してイベント会場に運び、低価格で提供しています。

7月16日のハッピーサマーカーニバルでは、その収益を追い出し猫振興会へ寄付し、市内小学校に配布する傘を製作。「モッタイナイ」の行動が地域を活性化し、人とのつながりを広げています。

あなたは大切な人に何を遺しますか ——

命がつながっていることを伝える人が少ない今だからこそ



食料自給率が100パーセントを超え、郷土の味をしっかりと受け継いでいる私たちのまちは、「食」の豊かさを発信していく責務があるのかもしれませんが。

宮若市だから発信できること、そして伝えられること。信吾さんは、はなちゃんと共に食卓の向こうに広がる未来を見据えています。

「いつまでもはなの成長を見届けたいから、できるだけ体に良い物を取り入れようと思います。自分たちで作れるものは作りたい。そんな思いから農業を始めました。会社を定年した後は、今よりも農業ができる場所に引っ越そうと考えています。はなに何を遺すことができるかを考えたとき、お金よりも田んぼや畑を遺したいと考えたからです。『食べる』こと＝生きることに困らない環境を遺す。それは千恵の遺志でもあるんです。

一日三回の食事。一年にすれば、千回以上食卓を囲む機会があります。たまには簡単で便利なものを利用することだってあります。でも、毎日取り入れていけばどうなるか自分たちの体験から分かりました。その影響は大人より、子どもの方が大きいことは、水俣病などの公害で私たちは学んでいるはず。授乳中の母親が喫煙している話をよく耳にします。たばこの有害な物質が体内に入り、血液の中を循環します。その有害なものを母乳とし

て赤ちゃんは取り入れるのです。彼女たちは母乳が血であることを知らないのかもしれませんが。命のつながりを伝える人が以前にくらべ少なくなってきた今だからこそ、伝えていかなければ、大変なことになってしまいます。

宮若市は本場の意味で豊かなところ。遊ぼうと思えば、身近に山や川などの自然があります。仲間が集まれば地元で採れた農産物でパーベキューだって簡単にできるでしょう。たとえ、経済的に年収が少なくても、支出が少ない生活を送ることが出来ます。つまりそれは、安全安心な農産物が近くにあって、食べるものに困らない環境があるということ。本当の豊かさとはこのような土地を指すのではないのでしょうか。

でも、その豊かさに地元に住んでいる人でも、気付いている人は少ないでしょう。宮若市が食の大切さを発信することは外部だけでなく、まちの魅力を再認識することにもなります。農業を一つの産業としての面だけでなく、文化として継承でき

ば、まちはより輝くでしょう。

宮若市にはお年寄りがたくさんいます。生きるための知恵も残されています。宮若市に住む人たちの食卓の向こう側には、まちの明るい未来が見えるような気がします。

パパたちも台所から食を考えた

Topic 6 パパ's Kitchen



パパの料理もおいしいよ!



11月3日、若宮コミュニティセンター「ハートフル」調理室で父と子の料理教室を行いました。普段仕事などで料理をすることが難しいパパたちにお子さんと一緒に楽しみながら調理しようという、市にとって初めての取り組みです。普段は食卓で食事を囲むパパたちや子どもたち。この日は食材を前にキッチンで悪戦苦闘するほほ笑ましい父子の姿がありました。



「当たり前のように過ごす食卓だからこそ、食べ物にそして生産者の皆さんに感謝することを忘れてはいけないですね」と、信吾さん。



広報担当がどこにでも取材に行きます！

どこかにあなたの知っている人がいるかもしれない

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

Miyawaka Watching

【ワイド版】

さらなる飛躍へ

▶ 宮田バイオレット、全国大会連覇

10月13日から宮城県仙台市で行われたねりんピックの全国大会で、ソフトバレーチーム宮田バイオレットが全国制覇を果たしました。昨年の同大会も全国優勝を遂げたことから周囲の期待とプレッシャーが渦巻く中、終わってみれば、全ての試合をストレート勝ち。2連覇の偉業を成し遂げました。

11月の広報でもその快挙をお伝えしましたが、記事の中で有馬千鶴子さんと中野早苗さんの名前が入れ替わっていました。ご本人を始め、関係者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしました。おわびして訂正します。



母校に響くラストハーモニー

▶ 第63回連合音楽祭

10月26日、若宮中学校体育館で宮若市と鞍手町、小竹町の7校の中学生による連合音楽祭が行われました。

半世紀以上も地域で続く連合音楽祭。「生徒に文化に触れる機会を」という思いから第1回が幕を開けます。

特に本市の生徒たちにとっては、中学校の再編を前に今の中学校名では最後の出場になるとあって、気持ちのこもったハーモニーを響かせてくれました。



年末、宮若大掃除！

▶ 市内一斉環境クリーン作戦

11月18日、宮若市内一斉環境クリーン作戦を行いました。この日は市内一斉清掃・美化運動も同日開催となり、地域を挙げての宮若大掃除となりました。

今年は1,600人の皆さんが参加。重点環境地区として4地区を重点的に清掃しました。毎年行ってる活動ですが、タイヤや生活ごみなどごみはなかなか減少していきません。親子で参加した男性からは、「ここに参加した人は不法投棄をするような人はいないと思います。この活動に参加する人を増やしてごみのないまちにしたいですね」と、空き缶で満杯のごみ袋を手に話してくれました。



生まれ育ったこのまちで結婚式

▶ 宮若ふるさと祭2012

10月28日、西鞍の丘総合運動公園で宮若ふるさと祭2012を行いました。「楽しさいっぱいの体験型遊園地」をテーマに幼稚園児の合唱から始まったふるさと祭。さまざまな新しい取り組みが行われフィナーレは、本物の結婚式を挙げる「ふるさとウエディング」。大村尚顕さんと須河内郁枝さんが会場の皆さんの前で結婚契約書を交わし、ここに1組のカップルが誕生しました。幸せそうな2人に会場からは祝福の拍手が送られました。



昔話は読むものではなく、聞くもの

▶ 子どもの読書推進ボランティア学習会

10月26日、マリーホール宮田で子どもの読書推進ボランティア学習会が行われ、講師に小澤俊夫さんをお迎えしました。

世界的指揮者、小澤征爾さんの兄であり、ミュージシャン小沢健二さんの父でもある小澤俊夫さん。昔話は本来「読む」ものではなく「耳で聞く」ものだったと語りかけます。

「白雪姫は本当は3回も死んでいるのです。でも、大人たちの考えによって改変されている。それは正しいことでしょうか」と、テンポ良い語り口調に乗せて、明らかになる昔話の真実に、目からウロコが落ちることばかりの学習会でした。



我が家の愛どる。

市内にお住まいで、満3歳までの宮若っ子を募集しています。

1月生まれで掲載を希望する人は、12月13日困までに本庁秘書広報係、支所市民グループまでお申し込みください。

宮若市 我が家の愛どる 検索



うえむら こうせい
上村 幸誠ちゃん
H 23年 12月 3日生
(磯光)

1歳のお誕生日おめでとう♡これからも元気いっぱいおねえちゃんと仲良く遊んでね！



えんどう りゅうのすけ
遠藤 柳之介 ちゃん
H 23年 12月 25日生
(本城)

男！男！男！三男坊の柳之介。お兄ちゃん2人に毎日鍛えられ元気に育っています☆☆



くろえ せな
黒江 晴和ちゃん
H 23年 12月 14日生
(金丸)

せなぼん、1歳のお誕生日オメデトウ！！パパとママはせなぼんの事が大好きだよ。これからも楽しい思い出を作っていくね。



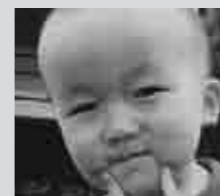
つるもり ひなた
鶴森 晃成ちゃん
H 23年 12月 16日生
(福丸)

1歳のお誕生日おめでとう。まわりがいつも笑顔になる日なたのような存在の晃成、これからも元気に育ってね。



はない すみれ
花井 遥玲ちゃん
H 23年 12月 28日生
(福丸)

いつもニコニコ笑顔のすうちゃんはパパとママの宝です。これからも健やかに育ってね。



ほんだ こたろう
本田 虎太郎ちゃん
H 22年 12月 3日生
(本城)

虎太郎くん、2歳のお誕生日おめでとう！たくさん食べて大きくなってね。



まえの ゆりな
前野 優莉菜ちゃん
H 23年 12月 9日生
(本城)

いつも元気な優莉菜ちゃん♡お誕生日おめでとう。これからの成長も楽しみにしているよ！！



もうり ゆう
毛利 優ちゃん
H 23年 12月 1日生
(平)

優ちゃん♡1歳のお誕生日おめでとう。いつも素敵な笑顔ありがとう



やまだ いつき
山田 一稀ちゃん
H 23年 12月 3日生
(鶴田)

いつも元気ハツラツ！！大好きなお姉ちゃんとかくさん遊ぼうね。



よしなが はな
吉永 陽愛ちゃん
H 23年 12月 8日生
(宮田)

1歳のお誕生日おめでとう！笑顔いっぱい優しい女の子になってね♡これからも心々愛お姉ちゃんと仲良くね☆

私は、小学校の六年生の時に同和問題のことに学びました。同和問題とは、部落問題とも言い、封建時代の身分制度や歴史的、社会的に形成された人々の意識に起因する差別が、現在もなお、さまざまなかたちで現れている重大な人権問題です。私は、今から約百四十五年も前の封建時代の差別が、現在もさまざまなかたちで現れていると知った時は、とても驚きました。五十年前前の時代の出来事なら、あまり驚くこともなく納得していたかもしれませぬ。でも、それが百四十五年にもなると、想像すらつかないと思いました。

私は封建時代の差別が、どんなかたちで現在に現れているのか気になったので、調べてみることにしました。すると、四つの差別に関する問題が目にとまりました。

一つ目は、人は自分の意志で生まれるところを選ぶことができないのにも関わらず、同和地区または被差別部落の出身という理由でさまざまな差別を受け、基本的な人権を侵害されている人々がいるということ。

二つ目は、公共施設などに差別的な落書きや張り紙をする、同和地区出身者やその住居の周辺住民に対し誹謗、中傷、脅迫する内容のはがきなどを大量に送りつける、インターネットに悪質な書き込みをするなどの差別行為が

三つ目は、企業が採用時に調査会社に依頼して、応募者の家族状況などを調べるといふ就職差別につながるおそれの強い身元調査事件。また、調査会社などからの依頼を受けた一部の行政書士が、職務上の権限を悪用して、戸籍謄本などを不正に取得する事件が起きていたということ。

四つ目は、結婚においても根深い差別意識が残っていて、結婚は結婚するふたりの意志によるものなのに、自分の子どもの結婚相手と同和地区出身者であることがわかった場合、結婚に反対するという親もいるということ。

この四つの差別に関する問題について私が感じたことは、生まれた場所が同和地区または被差別部落という理由だけで、差別をする人たちが許せない



若宮小学校のグラウンドには、若宮ネットワークアンビシャス広場と若宮小学校3年生が作ったエコキャンドルが放生会を盛り上げます。さらびやかな山笠に今年も多くの方が集まり、思い思いにカメラに収めていました。

放生会を陰から支える女性たち

▶ 若宮八幡宮放生会

10月5日から7日にかけて、若宮八幡宮放生会が行われました。500年以上の伝統がある若宮八幡宮放生会。2年に1度行われ、五穀豊穰を願い福岡市の筥崎宮、宗像市の宗像大社と並び「筑前三大放生会」とされています。

勇壮な大名行列や山笠に携わる男たちを陰から支えているのが食料部の女性たち。その1人、西尾みどりさんは「これからもずっと続けていくためにも、女性もがんばっています。最終日は早朝から食事の用意をします。若い人たちが集まってにぎわってくれる、そんな祭りを支えたいですね」と、話してくれました。



テーブルには早朝から準備した食事が所狭しと並びます。

無事に若宮八幡宮に男たちが戻ってくるのを待つ女性たち。放生会はさまざまな人の支えでつながっていました。

多くの命をうばう放火はやめて！

▶ 一丸すみれさん、秋季防火ポスター最優秀賞を受賞

秋の火災予防週間を前日に控えた11月9日、若宮西小学校で秋季防火ポスター最優秀賞の表彰式が行われました。

この取り組みは直轄広域消防本部が管内の4年生を対象に防火ポスターを募集し、啓発を行っているもの。453点の作品から最優秀の1点に選ばれたのが一丸すみれさんの『多くの命をうばう放火はやめて！』と描かれたポスターです。「選ばれると思っていませんので驚いています。絵を描くことが得意ではなかったので、自信になります」と、喜びを語ってくれました。また丹下奨大郎さんと石川智士さんはそれぞれ優秀賞を受賞しました。



かけがえのない一人ひとりだから

次世代を担う中学生に、豊かな人権感覚を身につけるために行われている人権作文。直方人権擁護委員協議会会長より表彰された作文を紹介いたします。今、中学生がどのようなことを考え、感じているのか。熱い思いに触れます。

人権作文
直方人権擁護委員協議会
「優秀賞」作品の紹介

日本固有の同和問題

宮田中学校一年
黒園彩さん

【受賞の喜び】 小学校6年生のときに学んだことを表現することができました。人権問題について、これからも勉強していきたいです。



と思いますし、人にされていやなことをしてほしくないと感じました。また、結婚は結婚するふたりの意志によるものなのに、自分の子どもの結婚相手と同和地区の出身者というだけで結婚に反対する親がいるということについては、生まれた場所なんて、私にとっては関係ないことで、結婚する相手が良い

人ならそれだけで十分だと感じました。このような差別をなくすためには、私たち一人ひとりが、同和問題をよく理解し、差別について知るとともに、差別をしたり、差別をしている人たちを見逃したりすることがないように行動していくことが、差別をなくす大切なことだと私は思います。

今年のロンドンオリンピックは、金メダル候補の日本人選手もたくさん出場しているの、見た方も多いと思います。

私もその一人です。

その中でも私は、陸上男子四百メートルのオスカー・ピストリウス選手を見て驚きました。実は、彼は両足とも義足のランナーなのです。にも関わらず、予選では他の選手をおさえて二位となり、準決勝に進出しました。

オスカー選手は、南アフリカ共和国出身の選手で現在25歳です。彼は、先天性の身体障害により、腓骨(足のすねの骨)が無い状態で生まれました。そして、生後十一カ月の時、ひざから下を切断、それでも身体能力の高さを生かし、幼い頃からサッカーや水泳、テニスやレスリングなどあらゆるスポーツをやっていたそうです。特にテニスや水泳は、州代表レベルだったそうです。

また、高校時代には、ラグビーをしていました。しかし、ラグビーでひざを負傷したため、リハビリ中の二〇〇四年に陸上競技を勧められ、陸上を始めたそうです。

身体能力の高かったオスカー選手は、陸上でも才能を開花させ、陸上を始めてからわずか一年たらずで、二〇〇四年にアテネで行なわれたパラリンピック

クの前で銅メダル、二百メートルでは金メダルをとりました。そして、四年後の北京オリンピックでは、「自分もオリンピックで挑戦してみたい」と、いう思いから、義足でもオリンピックに出場できるように申請しました。

しかし、国際陸連は、彼の義足は健常者よりも疲労が少ないとして、健常者の大会へ出場することを認めませんでした。このとき彼は、なぜ同じ大会に出てはいけないのかという悔しい気持ちを抱いたかもしれません。

しかし彼は諦めず、スポーツ仲裁裁判所へ提訴しました。そして、マサチューセッツ工科大学のバイオメカトリクス研究グループのリーダーである生物学者のヒュー・ハー氏の、義足が人間の足よりも優位であるという十分な証拠はないという研究と証言で、数カ月の審議の結果、彼は、健常者の大会への出場を認められるのです。

オリンピックで四百メートルの出場を目指していた彼は、スイスで行われた競技会で自己ベストとなる四十六秒二五を記録しました。しかし、オリンピック参加標準記録を突破できず、あと少しのところ、オリンピックへの出場を逃しました。

しかし、北京パラリンピックでは、見事金メダル三冠を達成するなど、着々と力をつけていきました。

「オリンピック」とともに

若宮中学校三年

渡部茉莉さん

【受賞の喜び】 家族と観戦していたロンドンオリンピックで義足の選手が走っているのに衝撃を受けました。今回の賞はとてもうれしいです。



四年後、彼は悲願のロンドンオリンピック出場を手にしたのです。その時、彼は感慨深げに周囲を見渡しなが、一歩一歩を踏みしめ、「この気持ちは言い尽くせない。オリンピックへの挑戦を決めてから六年間、オリンピックを目指して、すべてをささげ、ついにここまでたどり着いた。競技人生の頂点だよ」と、興奮気味に話したそうです。後に彼は、「欲しいものを得るには、常に多くの努力が必要です。何かを犠牲にしなければなりません」とも、語ったそうです。オリンピックの結果は残念ながら準決勝敗退で決勝への進出は、ありませんでした。

私は、オリンピックを通して、彼の血のじむような努力を知りました。また、自分も諦めずに頑張ろうと思えるような勇気ももらいました。きっと、

今回私だけでなく、多くの人が彼を見て、そう思ったと思います。こんなにも素晴らしい人を障害があるからというだけで、見下したり、バカにしたりするのは、その人の生き方や考え方に目を向けず、自己の考えやイメージにとらわれているからだ、私は思いました。しかし、今回のオリンピックでの、彼の挑戦は、そんな人の偏見を全てはねつけるような、本当に素晴らしい挑戦だったと思います。オリンピックを通して、私はどんな人にも広い心、同じ立場、同じ目線で、柔軟に関わっていきけるような大人になりたいです。

今では、ブレッド・ランナーの愛称で多くの人に親しまれています。パラリンピックでは金メダルがとれるように、これからもオスカー選手を応援していきたいです。

世の中へ向けていじめ問題

宮田光陵中学校三年

末岡志織さん

【受賞の喜び】 今、社会で関心があることに対して、素直な気持ちで書くことができました。このような賞をいただけることに驚いています。



人はなぜ人を見ため判断するのでしょうか。人はなぜ軽蔑心をもつのでしょうか。人はなぜ見て見ぬふりをするのでしょうか。

それは全て差別心からくるものだと私は思います。私が思う差別心とは人として最低な一部分だと思います。それは醜い人の汚く冷たい所。人は人の人権を尊重しなければならぬなど言葉だけで、誰もがそれを意識しているわけではないです。

もし、誰もがその言葉を意識し、心に刻んでいたら、いじめなどバカなことはいくらも存在しないと言えるでしょう。

人がなぜいじめをするのか、それは弱いからと私は思います。自分の弱さが生み出している醜い部分、そう思います。いじめは心の弱い人間がするこ

と。人を傷つけてなにか楽しい、人を痛めつけてなにかいいことがあるのか。私は疑問でなりません。そんなことをして最後になにか良いことがあるのか、「やらなければよかった」。そんな気持ちしか残らないと思います。最後には結局、自分に返ってくる。私はいつもそう思っています。

最近、よくニュースなどテレビで見かけるいじめ問題。特に学校でのいじめが目立っています。

私は正直、「あなたたちは、人としての優しい心を持っていないのか。それでも人間か? 冷たい、悲しい人間だ」と、思います。いじめられた人がクラスにいる。それを見たことが本当はあるのか、自分がいじめられるのを恐れてか、生徒も教師も見えて見ぬふり。誰も救おう、手を差し伸べよう。そんな

いじめに打ち勝つ勇気を、どうかあなたに。

私が伝えたいと思う言葉、どうか届きますように。

命と人権の花を咲かせたい

▶ 宮田小学校と若宮西小学校、人権の花運動

10月30日、宮田小学校と若宮西小学校の児童が、人権学習の一環である「人権の花運動」として自ら育てたひまわりの種をつけた風船を飛ばしました。

この運動は人権の花であるひまわりの栽培を通して思いやりの心をはぐむことを目的に行っているもの。児童はひまわりの種と一緒にメッセージを託して風船を大空に放ちました。若宮西小学校3年生の藤井楓華さんは、「種から育てたひまわりがとて大きくったのに驚きました。優しい人がこの種でひまわりを育ててくれたらうれしいです」と話し、風船が見えなくなるまで見送っていました。



人権 Information
人権の花運動

みやわか M for More Info **幼稚園児募集**

平成25年度幼稚園・幼児園園児を募集します

● 問い合わせ 本庁学校教育課管理係 ☎ 32・1007

施設名	園区
 宮田南幼稚園 ☎32・4829	宮田南小校区に居住する幼児
 宮田北幼稚園 ☎32・0201	宮田北小校区に居住する幼児
 認定こども園さくら幼児園 ☎32・2848	宮田東小校区に居住する幼児
 緑ヶ丘幼稚園 ☎32・0156	宮田小校区に居住する幼児
 笠松幼稚園 ☎32・0240	笠松小校区に居住する幼児
 若宮幼稚園 (園舎工事中) ☎52・0202	若宮小、山口小、若宮西小校区に居住する幼児
 吉川幼稚園 ☎54・0548	吉川小校区に居住する幼児

市

内に居住する幼児で来年度に幼稚園、幼児園に入園を希望する人の申し込みが始まります。

● **対象者** ▽三歳児Ⅱ平成21年4月2日から22年4月1日までの幼児(若宮幼稚園 ▽四歳児Ⅱ平成20年4月2日から21年4月1日までの幼児)▽五歳児Ⅱ平成19年4月2日から20年4月1日までの幼児

● **入園料・授業料** ▽入園料Ⅱ四千元▽授業料Ⅱ四千五百円(月額)

● **減額・免除** 生活保護を受けている世帯や市民税非課税世帯や所得割非課税世帯は、申請により減免措置を行う制度があります。

● **授業料のほかに教材費や給食費などが必要**です。

● **提出書類** 入園願書

● **願書配布場所** 各幼稚園、学校教育課管理係

● **受付場所** 希望する幼稚園や認定こども園

● **受付期間** 12月3日から28日(金)まで、平日の午前8時30分から午後5時15分まで

みやわか M for More Info **障害者控除**

障害者控除対象者認定書で障害者控除を受けることができます

● 問い合わせ 本庁老人福祉係 ☎ 32・0515 支所福祉グループ ☎ 52・1113

認定書交付の基準

● **障害者控除** ▽身体障害者の障がいの程度の等級表(三級から六級)と同程度の障がい▽知的障害者の障がいの程度の判定基準(重度以外)と同程度の障がい

障害者控除		
区分	所得税	住民税
障害者控除額	27万円	26万円
特別障害者控除額	40万円	30万円

● **認定書の交付が必要でない人** ▽「身体障害者手帳」「療育手帳」などの交付を既に受けている人 ▽認定書による所得税や住民税の障害者控除を受けなくても非課税となる人 ▽扶養者が非課税となる人

● **認定基準に該当する人**で、介護保険の要介護一から要介護五までの認定を受けている年齢65歳以上の人、介護保険の認定調査票(本人の同意を得て)を基に判定します。

● **認定方法** 認定基準に該当する人で、介護保険の要介護一から要介護五までの認定を受けている年齢65歳以上の人、介護保険の認定調査票(本人の同意を得て)を基に判定します。

身 体障害者手帳の交付を受けていない人でも、精神や身体に障害のある65歳以上の人で、「障害者控除対象者認定書」を添付して、所得税や住民税を申告すると、障害者控除(障害者控除又は特別障害者控除)を受けることができます。

● **特別障害者控除** ▽身体障害者の障がいの程度の等級表(二級、一級)と同程度の障がい▽知的障害者の障がいの程度の判定基準(重度)と同程度の障がい▽精神上の障がいにより、事理を弁識する能力を欠く状況にある者と同程度の障がい

みやわか M for More Info **固形燃料用ごみ、もえないごみ、し尿、犬猫引き取り**

年末年始のごみ、し尿の収集日程にご注意ください

● 問い合わせ 本庁環境衛生係 ☎ 32・0516 支所福祉グループ ☎ 52・1113

年末 年始のごみ収集、犬・猫の引き取りについてそれぞれお休みの日程が異なります。

固形燃料用ごみ 平成25年1月1日(日)から3日(火)までお休みします。4日(水)から、収集を開始します。

もえないごみ 「収集日程表」どおりです。日程表は窓口で配布も行います。宮若市公式ホームページにも掲載しています。

し尿 12月30日(日)から3日(火)までお休みします。臨時収集の申し込みは、12月26日(土)までです。

犬猫の引き取り ペットを最後まで

収集業者	電話番号	業種
サン・フレッシュサービス	☎32・1176	し尿・ごみ
西鞍手浄化槽管理	☎32・0507	し尿・ごみ
クリーンサービス若宮	☎52・3337	ごみ
宮田環境	☎32・2445	ごみ
友永清掃	☎080・6417・2141	ごみ
エーアンドシー	☎09496・2・1197	ごみ
協和環境	☎32・4821	し尿
タケマツ環境	☎52・0903	し尿
嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	☎0948・21・4973	犬猫

で愛情をもって飼うことを強くお願いしていますが、どうしても飼えない犬、猫は嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所まで引き取ります。12月28日(金)から1月3日(日)まではお休みします。

引き取りは、有料となります。生後九十一日未満の犬や猫は一匹につき四万円。九十一日以後は一匹につき二万円となります。



引き取りの際には事前に、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所まで連絡をお願いします。

みやわか M for More Info **保育所・保育園児募集**

平成25年度保育所・保育園児を募集します


● 問い合わせ 本庁子育て支援グループ ☎ 32・0517

公立保育所

施設名	受付日時
 第1保育所 (4月から民営化) ☎32・0210	1月23日(日)、午後3時から6時まで
 第2保育所 ☎32・0365	1月24日(日)、午後3時30分から6時まで
 認定こども園さくら幼児園 (第3保育所) ☎32・1309	1月25日(月)、午後3時30分から6時まで

● 問い合わせ 本庁子育て支援グループ ☎ 32・0517

私立保育園

施設名	受付日時
 福丸保育園 ☎52・0169	1月23日(日)、午後3時から6時まで

● 問い合わせ 支所福祉グループ ☎ 52・1113

来 年度に保育所、保育園に入所を希望する人の申し込みが始まります。

● **入所要件** ① 保護者の仕事により昼間に家庭で保育ができないこと ② 母親が出産前後(六カ月)であること ③ 保護者が病気や心身に障害があること。ただし、治癒するまでの期間となります ④ 家族で長期の病人を看護していること、など

● **配布場所** ▽各保育所Ⅱ本庁子育て支援グループ▽福丸保育園Ⅱ支所福祉グループ

● **受付期間** 平成25年1月4日(金)から31日(日)まで ※入所できる定員に限りがあるため、可能な限り1月中の手続きをお願いします。 ※市外保育所へ広域入所している人は別途書類を提出してください。

● **配布場所** ▽各保育所Ⅱ本庁子育て支援グループ▽福丸保育園Ⅱ支所福祉グループ

● **配布場所** ▽各保育所Ⅱ本庁子育て支援グループ▽福丸保育園Ⅱ支所福祉グループ

● **配布場所** ▽各保育所Ⅱ本庁子育て支援グループ▽福丸保育園Ⅱ支所福祉グループ

みやわか M for More. Info 宮若市輝くふるさと応援寄附

宮若市を応援してくれるあなたへ ふるさと納税をご利用ください

● 問い合わせ 本庁政策推進グループ ☎ 32・0512

ふるさと納税制度は、「自分が生まれ育ったふるさとに貢献したい。自分とかかわりの深い地域を応援したい」という思いから、作られました。市では「宮若市輝くふるさと応援寄附条例」を制定し、寄付をしていただいた人の思いを施策に反映できる仕組みを整えています。皆さんのご協力をお願いします。

住民税や所得税が寄付控除となります

寄付金の二千円を超える部分が、所得税や住民税から控除される仕組みです。寄付金は、一口五千円からとなります。寄付金額に上限はありませんので何口でも可能です。

ただし、寄付控除を受けられる額に制限がありますのでご注意ください。

お礼に特産品を贈ります

市では寄付していただいたお礼として特産品を贈り

平成24年度実績(11月7日現在)

応募件数	寄付合計金額
37件	3,975,000円

みやわか M for More. Info 救急医療情報キット

救急医療情報キットを配布します

● 問い合わせ 本庁老人福祉係 ☎ 32・0515
支所福祉グループ ☎ 52・1113
保健センターパレット ☎ 55・6000



救急医療情報キットとは

持病やかかりつけの病院、緊急連絡先など救急時に必要な情報を記入したシートを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に貼っておくことで、万一の救急時に備えるものです。

対象者 ▼65歳以上のひとり暮らしの人

申請方法 このキットの配布を希望する人は、申請書を窓口に出してください。申請書用紙は窓口でお渡しします。

申込先 ▼本庁老人福祉係 ▼支所福祉グループ ▼保健センターパレット

申込受付 12月10日 日から

※各地域の民生委員も配布を行います。窓口での申請が困難な人はご相談をお願いします。

みやわか M for More. Info 広報みやわかの配布

広報みやわか1月号は、 1月4日からの配布となります

● 問い合わせ 本庁秘書広報係 ☎ 32・0512

毎月、皆さんに配布している広報みやわか「宮若生活」。来年1月号の配布日が通常と変わりますのでお知らせします。

通常毎月1日から四日間をかけて配布しますが、1月号は1月4日から配布します。

宮若市の全世帯に配布しています

現在、広報紙は宮若市の全世帯に配布しています。配布員が市内全世帯に配っていくため、一日で配布することはできません。そのため、月始めから四日間をかけて配布しています。天候の影響で配布日が異なることもあります。また土・日曜日、祝日(年末年始は除く)も配布しません。

自治会長のお宅には二日間かけて郵送します

各自治会の中で回覧する情報は、これまでどおり自治会長宛に郵送で対応しています。そのため、自治会



もし、四日間を経過しても広報紙が届かない場合は、本庁秘書広報係にご連絡をお願いします。

そのときに、職員があなたのお名前と住所、電話番号をお尋ねします。その情報を元に地図で確認後、配布を行い、翌日以降配布漏れのないように対応していきます。

ご理解のほどよろしくお願いします。

広報紙が届いていない場合はご連絡ください

長のお宅には広報紙とは別に回覧板用の冊子が届くこととなります。二日までにお手元に届くように手配していますが、郵送遅延などで遅れることもあります。ご了承ください。

みやわか M for More. Info 子育て短期支援事業

子育て短期支援事業を行っています

● 問い合わせ 本庁子育て支援グループ ☎ 32・0517

市では一時的にお子さんを預かるなどの、子育て短期支援事業を行っています。利用を希望する人は事前に本庁子育て支援グループに申請してください。

ショートステイ事業

児童を養育している家庭の保護者が、疾病や仕事などの社会的事由や育児疲れなどで児童の養育が一時的に困難になった場合に、その児童を児童福祉施設や児童養護施設でお預かりする制度です。

利用期間 原則七日間以内

費用 ▼二歳児未満 11日額五千三百五十円 ▼二歳児以上 11日額二千七百五十円

※生活保護世帯、市民税非課税世帯などは費用の一部が減免となります。

トワイライトステイ事業

児童の保護者が仕事などの社会的理由で、平日の夜間や休日不在となり、家

庭の中で児童の養育ができない場合に、児童福祉施設や児童養護施設で通所により児童をお預かりする制度です。

利用期間 ▼平日夜間 11午後5時から10時まで の四時間以内 ▼休日 11午前7時から午後5時までの八時間以内

費用 ▼平日夜間 11日額七百五十円 ▼休日 11日額千三百五十円

※生活保護世帯、市民税非課税世帯などは費用の一部が減免となります。

必要なもの 印かん、利用するお子さんの健康保険証

※ショートステイ事業とトワイライトステイ事業ともに施設までの送迎は保護者に行ってください。



詳しい利用方法についてはお問い合わせください。

01 寒さに負けずスポーツ始めませんか いきいきスポーツクラブ参加者募集

スポーツを楽しみながら充実した生活を送るためのお手伝いをさせていただくことを目的に、活動をしています。詳しくはいきいきスポーツクラブ事務局 ☎34・7650) までお問い合わせください。

スポーツタイム教室 <i>SportTime</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月7日(土)、21日(日)、午後8時から ●ところ 宮田西中学校体育館 ●費用 ▷会員=無料▷一般=100円 	ヨガ教室 <i>YOGA</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月17日(日)、平成25年1月7日(日)、午後8時から9時30分まで ●ところ 宮田B&G体育館 ●費用 ▷会員=1,000円▷一般=1,500円 	ゴルフ教室 <i>Golf</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月12日(日)、26日(日)、午後1時30分から3時まで ●ところ 宮田B&G体育館 ●費用 ▷会員=300円▷一般=500円
健康体操教室 <i>Healthy gymnastics</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月13日(日)、27日(日)、午後1時30分から2時30分まで ●ところ 宮田B&G体育館 ●費用 ▷会員=600円(会員のみの教室です) 	ウォーキング教室 <i>Walking</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月10日(日)、24日(日)、午後1時30分から3時まで ●ところ 宮田B&G体育館 ●費用 ▷会員=300円▷一般=500円 	太極拳教室 <i>Taichi</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月12日(日)、26日(日)、午後1時30分から3時まで ●ところ 宮田B&G体育館 ●費用 ▷会員=300円▷一般=500円
スポーツ吹矢教室 <i>Sport FUKIYA</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月17日(日)、平成25年1月7日(日)、午後1時30分から3時まで ●ところ 宮田B&G体育館 ●費用 ▷会員=700円▷一般=1,000円 	フォークダンス教室 <i>Folk dance</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月18日(日)、平成25年1月8日(日)、午後1時30分から3時まで ●ところ 宮田B&G体育館 ●費用 ▷会員=600円▷一般=1,000円 	スポーツチャンバラ教室 <i>Sports chambara</i> <ul style="list-style-type: none"> ●とき 12月8日(日)、15日(日)、午後7時30分から9時まで ●ところ 宮田B&G体育館 ●費用 ▷会員=500円▷一般=1,000円(小学生は無料)

Lifelong Study Scope

生涯学習スコープ

02 成人式は新成人の手で 平成25年成人式

一生に一度の成人式。市では、新成人の皆さんで構成される実行委員会の手で運営しています。



- とき 平成25年1月13日(日)、午後1時受け付け、2時開式
- ところ 宮田文化センター
- 対象 平成4年4月2日から平成5年4月1日に生まれた人
- ※案内状を12月12日に発送します。21日以降になっても届かないときは、お問合せください。
- ※市外に住民票がある人で、宮若市の成人式に出席を希望する人は12月11日までにご連絡ください。
- 問い合わせ 本庁社会教育・文化振興係 ☎32・3210

03 パパの参加をお待ちしています 子育てサロン「鞍手竜徳高校」でクリスマス会を行います

「子どもが生まれ、父親になったら、仕事も育児も両立しながら楽しんで生きていきたい」。ファザリングジャパンでは、よい父親ではなく笑っている父親を増やしていこうと、さまざまなところで活動しています。今回、子育てサロン「鞍手竜徳高校」で読み聞かせを行っていただきます。ママたちだけではなく、パパたちも一緒にクリスマス会を楽しみませんか。

- とき 12月6日(日)、午前9時55分から10時40分まで
- ところ 鞍手竜徳高校多目的ホール
- 内容 ▷高校生によるハンドベル演奏▷ファザリングジャパンによる絵本の読み聞かせ
- ※子育てサロンは午前9時30分から午後2時まで行っています。
- 問い合わせ 本庁社会教育・文化振興係 ☎32・3210



「家族の大切さ」
有吉祐奈
●宮田南小学校六年生



「平和」
坂本清正
●宮田北小学校六年生



「友達」
上原芽菜
●笠松小学校六年生



「平和な東小学校にするために」
川原瑞希
●宮田東小学校六年生

青少年健全育成事業「少年の主張大会」

とどけ、きみの声



11月11日、マリーホール宮田で少年の主張大会が行われました。各学校から13人の児童生徒がそれぞれの思いを発表。次世代を担う子どもたちの言葉に、会場からは惜しめない拍手が送られました。

← 宮若手話の会「たけのこ」の皆さんのおかげで、児童生徒の思いは手話となって障がいがある人たちにも伝えることができました。



「命について考えたこと」
村上太一
●宮田小学校六年生



「知れば知るほど好きになる」
鷹野茜
●山口小学校六年生



「いじめに立ち向かう勇氣」
須河内翔
●吉川小学校六年生



「チームワークの大切さ」
安永吏希
●若宮小学校六年生



「福丸橋の落書きについて」
麻生竜馬
●若宮小学校六年生



「いじめをなくすために」
林実来
●宮田中学校二年生



「個人情報流出を止めるために」
寄井美来
●宮田西中学校三年生



「夢の実現への第一歩」
吉田信将
●若宮中学校二年生



「いじめについて」
草津良太
●宮田光陵中学校二年生

『家族を生きる』

著者 ▶ 平木典子・柏木恵子
出版 ▶ 東京大学出版会
配架場所 ▶ 本館一般書架

男女が結婚し、子どもを産み、育てるといふ今まで普通の家族の形と思われていたものが、変わってきています。

というのも、非婚、晩婚の男女が増え、これによって少子化も進んできています。そして、少子化により親子関係にも変化が…。

なぜ、現在のよう状況があるのか、それは「結婚」に価値がなくなってきたのでは？ と著者たちは考えます。男女の考えが変わり、家族の形が変わっていく。そんな中で自分らしく生きていくヒントを教えてくださいませんか。



毎月発売される新刊の中から
図書司書セレクトの本をお届けします。
新刊チェックの参考にどうぞ。

↓ 注目の
新刊情報

『いじめ 心の中がのぞけたら』

著者 ▶ 森山 理咲
出版 ▶ 朝日学生新聞社

朝日新聞ウィークリーの「いじめ伝言版」の投稿をもとにして著者が漫画に創作したものです。小中学生に読んでもらいたい1冊。



『母親ウエスタン』

著者 ▶ 原田 ひ香
出版 ▶ 光文社

母親のいない子どもたちの母親代わりをして、いくつもの家庭を転々とする広美。彼女はなにを求めているのか？



『コミュニティデザインの時代』

著者 ▶ 山崎 亮
出版 ▶ 中央公論新社

人とのつながりが希薄になってきた現代だからこそ、人とつながれる場所が必要なのは？ そんな素敵な場所を作ることができるのか…。



『督促OL 修行日記』

著者 ▶ 榎本 まみ
出版 ▶ 文藝春秋

クレジット会社に入社。喜んだのもつかの間、配属先は人気ワーストワンの督促コールセンター。思ってもない世界を体験することに…。



『クリスマスのうたものがたり』

著者 ▶ 中井 俊巳
出版 ▶ ドン・ボスコ社

クリスマスになると必ず耳にする「きよしこのよる」はどうして生まれたのでしょうか？ 素敵なクリスマスソングのおはなしです。



『迷子の大人』

著者 ▶ 坂井 希久子
出版 ▶ 実業之日本社

梓は27歳。派遣社員を辞め、介護福祉士へ。結婚願望が強い恋人あり。でもこのままいいの？ もうすぐ30歳になる女性の自分探しの物語。



本好きなあなたがおすすめの1冊を紹介するコーナーです。

第6回 私の1冊

▶ おすすめする人 平本彩花さん 【小学校4年生】
平本清太朗くん 【5歳】

「おばけのソッチは、歌が大好きなんだけど、とてもひどい歌声。でも応援したくなるんです」と「おばけのソッチぞびぞびぞ」を紹介してくれた彩花さん。「おさるのジョージ こいぬをかう」が大好きな清太朗くんは、「ジョージが子犬を飼うけど大変なことになるの。動物が出てくる絵本が大好き」と感想を話してくれました。図書館ができて、より身近になった本の存在。寝る前に読み聞かせしてもらった本の冊数も増加中とのこと。



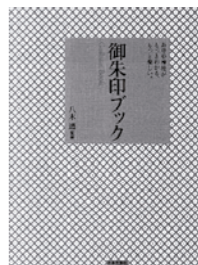
図書館の本を読んで実際にやってみたことをレポートします。

図書館司書が読んでみた・やってみた



「御朱印」とは、神社仏閣で参拝の記念にいただけるスタンプのようなものです。お寺や神社独自の印や書とともに、参拝した日にちを「御朱印帳」と呼ばれる冊子に記していただくのです。

御朱印にはさまざまなデザインがあります。そのひとつひとつを手書きしていただけるので、見るだけでも楽しめます。私も数年前に京都や奈良の神社巡りをして以来、すっかり御朱印集めに夢中になっています。



私が読んだ1冊！
『御朱印ブック』
監修 ▶ 八木 透
出版 ▶ 日本文芸社
配下場所 ▶ 本館一般書架

これまで参拝したお寺や神社の御朱印を披露してくれた古川さん。「この印を集めに旅行に行く人もいるぐらいです。たくさん揃うとそれぞれ個性があって旅行を終えても楽しめますよ」。

12月8日はスペシャルなおはなし会

12月はリコリスとハートフルのおはなし会を合わせたスペシャルなおはなし会紙芝居やエプロンシアター、手遊びなど盛りだくさんの内容です。皆さんの参加をお待ちしています。



- とき 12月8日 日、午後2時から
- ところ 宮若市生涯学習センター「宮若リコリス」研修室
- ▶リコリス・ハートフル図書室の休館日
- 12月の休館日 3日 日、10日 日、17日 日、25日 日、27日 日、29日 日～31日 日

詳しくは配布中の「お手紙」でご確認ください。

寺社巡りの新しい楽しみとして人気が高まっているのですが、御朱印をもらうに当たって、知っておくべきことがいくつかあります。それを教えてくださいるのが、私の読んだ一冊、八木透さんが監修のその名もずばり「御朱印ブック」。

これからは旅行するときは、御朱印帳と一緒に付けてみませんか。リポーター 古川 睦

試験
examination information

**平和を仕事にする
自衛隊高等工科学校**

国際社会に対応できる自衛官を養成する学校です。

- **対象** 15歳以上17歳未満(平成25年4月1日現在)
- **試験日** 平成25年1月19日(日)
- **ところ** 九州工業大学(飯塚市)
- **申込締切** 平成25年1月7日(日)まで
- **問い合わせ** 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 ☎0948・22・4847

その他
others information

**宮若市と鞍手町で
合同期間入札会を行います**

税金の滞納処分による差押物件の公売を鞍手町と合同で行います。

- **とき** 12月17日(日)から19日(火)まで
- **ところ** 宮若市役所、鞍手町役場
※ 出品物など、詳しくはお問い合わせください。
- **問い合わせ** 本庁収納・滞納対策係 ☎32・1008

**リコリスエントランス
コンサート**



白いピアノと合唱のハーモニーをお楽しみください。

- **とき** 12月17日(日)、午後6時30分から
- **ところ** 宮若市生涯学習センター「宮若リコリス」
- **出演者** 第九inみやわか実行委員会
- **問い合わせ** 本庁社会教育・文化振興係 ☎32・3210

**年末年始の風物詩
日本一の大門松祭**



餅まきや餅つき大会、手打ちそばなど、祭りを盛り上げる催しや出店があります。

- **とき** 12月2日(日)、午前11時開式
- **ところ** ドリームホープ横駐車場
※ 平成25年1月13日(日)正午からはどんど焼きが行われます。
- **問い合わせ** 宮若市観光協会 ☎55・9090

**12月16日は衆議院議員総選挙、
最高裁国民審査の投票日です**

宮若 衆議院選挙 検索

衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査を次のとおり行います。

- 11月の広報みやわかで募集を行いました第7回ビーチバレー大会は中止となります。(▶問い合わせ=本庁公民館・スポーツ振興係 ☎32・0123)
- **投票日** 12月16日(日)、午前7時から午後8時まで
- **ところ** 市選挙管理委員会から発送された投票入場券ハガキに記載している場所
- ▶ **投票日できない人は期日前投票を** 仕事などで選挙当日に投票できない人は期日前投票ができます。
- **投票期間** ▶ 衆議院議員選挙=12月5日(日)から15日(日)まで▶ 国民審査=12月9日(日)から15日(日)まで
- **時間** 午前8時30分から午後8時まで
- **ところ** ▶ 本庁情報公開室▶ 若宮コミュニティセンター「ハートフル」研修室
- **持ってくるもの** 投票入場券ハガキ(忘れた場合は本人を証明できるもの)
- **問い合わせ** 市選挙管理委員会 ☎32・0514

新生活産業合同会社説明会

個人や家庭向けサービス分野の企業による説明会です。

- **とき** 12月13日(日)、午後1時から5時まで
- **ところ** 西日本総合展示場
- **対象** 現在求職中の人で平成25年3月卒業予定者(高校生を除く)
- **問い合わせ** 県新生活産業就職支援事業運営事務局 ☎092・713・8600

**第九inみやわか、
入場整理券の配布を始めます**



第1部は音楽の宝石箱と題した演奏会を、第2部に「歓喜の歌」を披露します。(整理券は12月3日から配布)

- **とき** 12月24日(日)、午後1時30分開場、2時開演
- **ところ** マリーホール宮田
- **整理券配布場所** ▶ 本庁市役所、▶ 若宮コミュニティセンター「ハートフル」▶ 宮若市生涯学習センター「宮若リコリス」▶ 中央公民館▶ 中央公民館若宮分館
- **問い合わせ** 第九inみやわか実行委員会事務局 ☎090・2763・2680

**治安維持にかける熱意、新たに
福岡県警年頭視閲**

福岡 年頭視閲 検索

- **とき** 平成25年1月8日(日)、午前10時から正午まで(9時20分開場)
- **ところ** 雁の巣レクリエーションセンター駐車場(福岡市)
- **内容** ▶ 年頭視閲=警察部隊分列行進、車両行進▶ ふれあい広場=白バイやパトカーの体験乗車
- **問い合わせ** 県警察本部教養課 ☎092・641・4141

**地域農業の未来を担う計画の
アンケート調査を行います**

宮若 人・農地プラン 検索



高齢化を始め、地域農業は厳しい状況に直面しています。そんな中でも安定的に農業を発展させる指針として「人・農地プラン」を作成します。このプランは、地域の皆さんと一緒に考え、作成するもので今後はこの計画を基にさまざまな支援を受けることができます。対象世帯には意向調査を行います。

- **問い合わせ** 本庁農業振興係 ☎32・0518

**公共下水道が使用できる地域を
拡大しました**

本城地区の一部で下水道が使用できる地域を拡大しました。

公共下水道は区域の皆さんが宅内工事を行い、接続することでその効果を発揮します。排水設備工事は、市が指定した工事店に依頼してください。

- **問い合わせ** 本庁下水道課管理係 ☎32・3159

なおみの会とトヨタ自動車九州が協働部門賞を受賞

→ 高級車レクサスのシートを使ったしおり。1つ1つ手作りです

特 定非営利活動法人なおみの会とトヨタ自動車九州株式会社がふくおか共助社会づくり表彰で「協働部門賞」を受賞。10月25日、その喜びの声を有吉哲信市長に届けてくれました。自動車の革シートの余りをなおみの会の皆さんが加工して、本のしおりを製作。トヨタ自動車九州の来場者に特産品とセットにして贈呈することで、障がいがある人の自立を支援するものです。

なおみの会の会長、立山利博さんは「このような賞は大変ありがたいことであり、励みになります。トヨタ九州さんにも大変感謝しています。今後も取り組んでいきたいですね」と、今後の決意を語ってくれました。

竹粉碎機を貸し出します

竹林整備や里山保全を目的に、市内で伐採された竹の処理のため竹粉碎機を貸し出します。竹粉碎機は、西鞍手森林組合が運搬、操作を行います。(機械だけの貸し出しは不可)

機械の操作と作業補助のため3人を派遣します。利用者は操作員と共同で作業をしてください。

- **費用** 無料(燃料を満タンで返還してください)
- **問い合わせ** 本庁農業振興係 ☎32・0518、西鞍手森林組合 ☎52・2211

**製造事業所の皆さんへ
工業統計調査を行います**

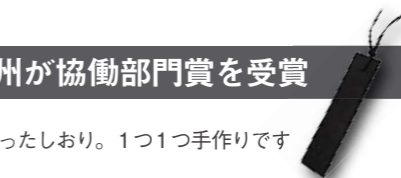
工業統計調査は、日本の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく重要な統計です。

調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として活用することになります。

12月から平成25年1月にかけて調査員がお伺いしますので、調査票への回答をお願いします。

※ 調査票の内容は、統計法に基づいて保護します。正確な記入をお願いします。

- **問い合わせ** 本庁総務グループ ☎32・0511



1月 保健行事カレンダー

- 8日(火): 4カ月児健診**
受付は午後1時~1時10分
: **12カ月児健診**
受付は午後1時15分~25分
保健センターパレット
- 9日(水): すくすく相談**
受付は午前10時~11時
保健センターパレット
- 10日(木): にこにこ運動教室**
午後1時30分~2時30分
保健センターパレット
- 15日(火): 1歳6カ月児健診
: 3歳児健診**
受付は午後1時~1時10分
保健センターパレット
- 16日(水): ベビーマッサージ教室**
①=午前10時~10時50分
②=午前11時~11時50分
保健センターパレット
- 22日(火): 7カ月児健診
: 12カ月児健診**
受付は午後1時15分~25分
保健センターパレット
- 23日(水): 離乳食教室(後期・要予約)**
午前10時~正午
保健センターパレット
- 24日(木): 親子遊び教室(要予約)**
午前10時30分~正午
: **にこにこ運動教室**
午後1時30分~2時30分
保健センターパレット
- 29日(火): 総合健診(事前予約者のみ)**
午前9時~10時30分
保健センターパレット
- 30日(水): 総合健診(事前予約者のみ)**
午前9時~10時30分
保健センターパレット

妊娠がわかったら母子手帳の申請を

医療機関で発行する妊娠届出書を保健センターパレットまで持ってきてください。母子手帳を交付します。

納期
tax・premium information

今月の納期【12月】

- 固定資産税 第3期
- 国民健康保険税 第9期
- 後期高齢者医療保険料 第6期
- 納期限 12月25日(金)まで
- 口座振替日 12月25日(金)

納期限内に納付しない場合は督促状を送ります。その後の納付には100円の手数料が別途必要です。また、納期限の翌日から期間に応じ、延滞金が発生します。(最初の1カ月は年利4.3%、以降14.6%) 納付書はコンビニエンスストアでも納付できます。
※ 年末のため、納期限や口座振替日が他の月よりも若干早くなります。ご注意ください。

- 問い合わせ 本庁収納・滞納対策係 ☎32・1008

**お忘れではありませんか
滅失家屋の届出**

固定資産税の賦課期日は毎年1月1日です。平成24年中に家屋を取り壊した人は届け出が必要となります。ただし、年内に法務局で滅失登記をした人は必要ありません。

- 問い合わせ 本庁資産税係 ☎32・0513

償却資産の申告が必要で

事業などを営んでいる人の事業用資産(償却資産)は固定資産税の対象となります。資産内容の変更の有無に係わらず、平成25年1月1日時点の資産内容を申告していただく必要があります。事業を廃止した場合にも必要です。

対象者には12月中に申告書を送付します。

- 提出期限 平成25年1月31日(金)まで
- ※ 12月末までに申告書が届かない場合はご連絡ください。
- 問い合わせ 本庁資産税係 ☎32・0513

相談
consult information

あなたの就労をサポートします

母子家庭の母や父子家庭の父を対象にハローワークと連携して就労を支援する事業を行っています。平日は市役所などで受け付けますが、日曜日はクローバープラザでも出張相談を行っています。

- 受付 午前9時から午後4時まで
- 問い合わせ 県母子家庭等就業・自立支援センター(飯塚ランチ) ☎0948・21・0390

行政書士による無料相談会

「住民の暮らしと財産」をテーマに相談に応じます。秘密は厳守します。

- とき 12月23日(金)、午後1時から4時まで
- ところ 中央公民館第1会議室
- 問い合わせ アソシエイツ宮若 主宰華村公一事務所 ☎42・3955

養育費の電話相談

母子や父子家庭、離婚協議中の人を対象に電話相談を行います。

- 受付 午前9時から午後4時まで
- 問い合わせ 県母子家庭等就業・自立支援センター(飯塚ランチ) ☎0948・21・0390

親と子のなやみ相談

子育てやいじめ、ひきこもりなど20歳未満の子どもに関する悩みや相談に応じます。(面接は予約が必要)

- とき 平成25年1月18日(金)・19日(土)、午前9時30分から午後4時30分まで
- 面接会場 クローバープラザ
- 相談電話番号 ☎092・584・1001 (開設期間中の臨時電話)
- 相談料 無料
- 予約・問い合わせ 県新社会推進部青少年課 ☎092・643・3388

**農業せんね、福岡で
農林漁業新規就業セミナー**

農林漁業を始めてみたい人を対象にセミナーや相談会を行います。参加は無料で、事前の申し込みは必要ありません。



- とき 平成25年1月5日(日)、午前9時30分から午後4時30分まで
- ところ 福岡ファッションビル
- 問い合わせ 県農林水産部経営技術支援課 ☎092・643・3495

労働トラブル電話相談

働いているあなたが電話しやすい時間帯に活動しています。

- ところ 毎週火曜日、午後8時から9時まで
- 相談番号 ☎092・724・9505
- 問い合わせ 県司法書士協議会 ☎092・984・3762

募集
invite information

障がい者職業訓練生募集

福岡障害者職業能力 検索

平成25年度の訓練生を募集します。
● 募集科・定員 ▶コンピューター製図科=20人▶プログラム設計科=20人▶商業デザイン科=20人▶OAビジネス科=20人▶福祉住環境科=20人▶流通ビジネス科=30人▶総合実務科=20人

- 応募資格 身体障害者手帳所持者、また取得可能な人。身体障がい以外の障がいのある人はご相談ください。
- 訓練期間 1年間(プログラム設計科のみ2年間)
- 応募締切 平成25年1月8日(金)まで
- 問い合わせ 福岡障害者職業能力開発校 ☎093・741・5431

**福岡県農業大学校
研修生募集**

- 募集コース 野菜コース、花きコース
- 定員 各20人
- 申込書受付 平成25年1月4日(金)から2月8日(金)まで
- 面接日 2月22日(金)
- 研修期間 平成25年4月から6カ月以上1年以内
- 問い合わせ 県農業大学校 教務部 ☎092・925・9129

**洋楽に合わせて踊る
ジャザサイズクラス受講者募集**



ふるさと祭では、追い出し猫のダンスを披露。「ジャザサイズ」の魅力を発信しました。

アメリカを中心に世界中で親しまれているダンスフィットプログラム「ジャザサイズ」。受講者を募集します。

- とき 毎週日曜日、火曜日、午前10時30分から11時30分まで
- ところ 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- 講師 本村いずみさん
- 問い合わせ ジャザサイズフランチャイブズオーナー ☎090・7469・4397

佐久間産業でもちつき大会

- とき 12月22日(日)、午前10時から正午まで
- ところ 佐久間産業
- 対象者 小学1年生から4年生まで(事前に申し込みが必要)
- 定員 10人(定員になり次第締切)
- 費用 100円
- 申込締切 12月20日(金)まで
- 問い合わせ 佐久間産業 ☎32・0027

NUMBER 数字で見る宮若市
INFORMATION

● 10月31日が基準日

事故・犯罪 飲酒運転撲滅

管内交通事故	件数	1月からの累計
件数	67件	663件
死者	0人	2人

窃盗犯罪内容	件数	1月からの累計
車上ねらい	1件	30件
部品ねらい	2件	22件
乗り物盗	6件	48件
自販機ねらい	1件	19件
空き巣など	2件	30件

火災 住宅火災警報器設置しましたか?

火災種類	件数	1月からの累計
建物火災	0件	3件
その他火災	3件	9件
死者	0人	0人

ごみ 第2、第4日曜日は資源回収の日です

種類	重さ
ごみの量	790,740 キロ
資源回収量	8,157 キロ
1人当たりのごみの量	26.3 キロ

※ ごみ減量目標は総合計画に掲げたもので1人が1カ月に出すごみの量を24.3キロ以内にしようとするものです。

人の動き

※ 住民基本台帳法の改正により、7月9日より外国人登録者数を含む人口情報となっています。

人口	16人 減りました	30,118人
男性	2人 減りました	14,207人
女性	14人 減りました	15,911人
世帯数	7世帯 増えました	13,064世帯
~14歳	12.5%	3,758人
15歳~64歳	58.9%	17,645人
65歳~	28.6%	8,566人
出生	27人	転入 74人
死亡	38人	転出 79人

家族や友人と一緒に楽しみませんか
スイートハーモニークリスマス
Sweet Harmony Christmas 2012



工場見学やミニトナカイキャンドルを作るものづくり体験会、コンサートなど楽しめる催しが盛りだくさんです。

地域の皆さんと従業員のふれあいの場として、クリスマスイベントを行います。目玉は世界最高品質のクルマづくりの現場を見ることができる「工場見学」。また「ものづくり体験会」では、手で温めると軟らかくなるロウを使って、ミニトナカイキャンドルを作ります。さらに、クリスマスにちなんだコンサー

- 申込み・問い合わせ トヨタ自動車九州PR館 ☎34・2400

- トなど、子どもから大人まで楽しめるイベントです。
- とき 12月24日(日)、午前9時から午後4時まで
- ところ トヨタ自動車九州(株) 宮田工場ウイング21 PR館
- 工場見学 1回60分で各回定員45人
- ものづくり体験会=1回30分で各回定員100人
- ※ 工場見学とものづくり体験会の参加希望者は、事前予約が必要です。12月14日までに電話でお申し込みください。(参加無料)
- その他の催し ▶クリスマスコンサート=ソプラノ歌手野見山御園さん、福岡教育大学アカペラサークル Acordeさん、PR館スタッフによるハンドベル演奏▶地元特産品の販売▶軽食コーナー(有料)



家族の夢

Yamamoto family's dream

愛息を飲酒運転による事故で失った山本夫妻。

行き場のない悲しみ、怒りを抱えてなお、

「思いやり」のある社会を目指したメッセージを発信しています。

12月4日には、宮田文化センターでその思いを伝えてくれる山本夫妻。

そんな二人の胸中に今、どのような未来が思い描かれているのでしょうか。

11月号の飲酒運転撲滅に引き続き山本浩之さん、美也子さんに、

今叶えたい「家族の夢」を伺います。

11月12日、ロンドンオリンピック・ロンドンパラリンピック出場選手に県民スポーツ栄誉賞・感謝状贈呈式が行われ、山本さんも県議会福岡県スポーツ議員連盟から「感謝状」が贈られました。

「大切な人に飲酒運転は命を奪うことを伝えてほしい」

ツをはじめ、今、障がい者スポーツのすばらしさを伝えていきます。

美也子さんは続けます。

「命は本当に大事なもので、一人に一個しかないもの。その一個がなく

なってしまうと、どんなにその人に

会いたいの思っても、会うことはで

きません。そして、その命はお父さ

んもお母さん、おじいちゃんおばあ

ちゃんにも一つしかないもの。自分

の命と人の命を大切に、思いやりの

ある社会になってほしいという切な

い思いから、私たちは話をさせてい

ただいています。

「免許も持っていない子どもたちが

に自動車の話をして意味がない。

飲めないお酒の話をしてわからな

いのでは」と、アドバイスをいた

くことがあります。

どの車が飲酒運転しているのか

わからず、だれがいつ、事故に遭遇

するのかわかりません。だからこそ、

子どもたちからも、身近な大切な

人に飲酒運転は命を奪うことを伝

えてほしいと思っています。

事故によって障がいがある生活に

なることは、とても悲しいことです。

だれもがなつてはいけなけれど、

し、そうなたたときにみんなが助け

命の大切さを失った寛太さんとの思いを込めて、優しく、そして力強く訴える美也子さん。飲酒運転撲滅の輪を1歩1歩広げています。



「バリアフリーは自分で切り開くものだから挑戦なんだ」

「僕は小さいときから、元気いっぱいの子でもでした。小学生のときには、川や沼を回ってはカエルやヘビを捕まえたりして遊んでいたんですよ。浩之さんは、美世子さんに続き、児童に語りかけます。」

「車椅子の生活になったのは、二十歳のとき。バイクが大好きだったので、大型二輪の免許を取りに行っていたときのこと。試験会場に行くその途中、車にはねられて背骨を骨折したのです。すぐに病院に運ばれました。ものすごく背中が痛くて、痛くて。その痛さに気絶して、目を覚ましては気絶しての繰り返し。足を動かさそうと思っても動かないので、何となくもう動かないのではと感じていました。」

「ちょうど目を開けたとき、先生がベッドの横に立っていました。『先生、僕の足はもう動かないんですか』。」

その問いに『一生車椅子です』と告げられました。その時、一番に思ったのは『車椅子はめんどうくさいな』という程度でした。

ない人もたくさんいます。

私は脊椎損傷で、お腹の下から神経がマヒしているので感覚がありません。足は触られているという感覚がないのです。

例えば誰かに意地悪されて、たたかれても痛みを感じません。一見、良いように思うかもしれませんが大変なことです。私は一日に一度、自分の体を点検します。ケガをしていないか確認するのです。練習中、いつの間にか血が出ているなんてこともあるからです。そのことから痛みを感じるということは人間にとって素晴らしい感覚なんです。

こんな私も困ることがあります。身障者用の駐車場に健常者である人が車を止めていること。車椅子の自分は、自動車のドアを全部開けないと乗れません。そのため、身障者が健常者に比べ駐車スペースが広くとられているのです。小さなことかもしれませんが、私たちには大きな問題です。

これは私の性格によるところが大きいと思いますが、後ろ向きになっても何もできないと思っています。それなら前を、少しでも前を向いて進んだほうがきっと人生を楽しめるという考えになりました。」

九州から全国、そして海外へ車椅子から広がった世界

浩之さんは、それから車椅子バスケットに出会い、大きく人生が変わ



「前に前に進むこと。後ろを見ても時間が過ぎるだけなんです」。脊椎損傷という大きなケガを乗り越えた経験を伝えます。

考えてみてください。私たちの身の回りの人が事故やケガを負った状況になっても社会が優しくなかったら、いいと思いませんか。誰が障がいがある人になっても、いつ妊婦さんになっても、そこに優しい社会があったら安心ですよ。」

怒りや憎しみではなく やっぱり、思いやり

「私のパラリンピックでの挑戦から車椅子マラソンをもっと多くの人に知っていただき、障がいを持つ子どもたちがもっと自由にアスリートを目指せるようになればと考えています。」

私たちが主催するNPO法人はあとスペースでは、障がいがある子どもたちと一緒に触れ合う活動をしています。その一人の男の子は、明るい性格なのですが、なかなか友人たちとも打ち解けず、運動することなど、積極的に取り組むこと

わることになります。

「実家の近くの体育館で車椅子バスケットをやっていると聞き、見学に行くことにしました。衝撃でした。体育館の中をものすごいスピードで自由自在に動き回っているのです。私は、すぐに車椅子バスケットを始めることにしました。」

車椅子バスケットはその競技人口が少ないことから、試合をするために遠征に行かなくてはなりません。みんなで車を乗り合わせて試合して、ホテルに宿泊して、翌日試合をします。

泊まるホテルは普通のビジネスホテルですよ。バリアフリーではないところばかりです。だからといって、不平不満を言うだけでは何も始まりません。車椅子でも利用することができるとです。

私の口癖は、バリアフリーは自分で切り開くもの。まずは挑戦してみ



「レース用の車椅子は君たちが走っても追いつかないほど速いんですよ」。実車を目の前にした講演に子どもたちも興味津々です。

ができませんでした。その子にレース用の車椅子に触れてもらったのです。すると、スポーツする楽しさややりがいに気づききっかけを作ることができたのです。

彼はとても変わりました。あれほど運動に二の足を踏んでいたのが積極的に取り組むようになり、友達との関係も変わり、お父さん、お母さんもびっくりされていました。

私は自分の人生、障がい者になつてからがおもしろくなりました。障がい者スポーツに出会い、行動範囲も広がり、充実しています。自分の体験を伝えることで、障がいがある子どもたちにも積極的に人生を生きてい欲しいと願っています。

息子を理不尽に失った悲しみや怒りを社会に訴えても変わることはありません。それなら、飲酒運転撲滅も障がい者スポーツの発展も、思いやりの気持ちをもって、優しい社会をつくること。それが私たち家族の夢なんです。」

山本浩之さんが文化センターで講演 ～12月は人権週間・障がい者週間です～

私たちの身近に存在する人権問題を考える機会として、人権講演会・地域福祉ゼミナールを行います。本年はロンドンパラリンピック陸上競技で、日本代表として活躍した山本浩之さんを講師に迎えます。

- とき 12月4日(木)、午後1時30分から
- ところ 宮田文化センター
- 講師 山本浩之さん
- 演題 『障がいと命 みなさんへ伝えたいこと』
- 問い合わせ 本庁人権福祉係 ☎32・0765、社会福祉協議会 ☎32・0335



皆さんの来場をお待ちしています。(C)越智貴雄



天候に関わらず毎日練習を欠かさない浩之さん。障がい者スポーツの普及と楽しさを伝えるためにトレーニングを積みます。(C)越智貴雄

ということですが。これは絶対無理ということでも、どうしたらできるのか考えている自分がいます。車椅子バスケットとの出会いから十年後、車椅子マラソンに転向し、陸上競技を始めるようになりまし。すると、今度は北海道から沖縄までレースを転戦するようになり、さらにオーストラリア、アメリカなどの海外のレースでも走るようになったのです。

車椅子の生活にならなかつたら、福岡を出ることも少なかったのに、今では世界中を行動できることに自分自身が楽しんでます。車椅子が私の行動範囲を広げてくれたのです。

でも、誤解しないでほしいのは、障がいがあることが一概に良いことというわけではありません。本当に大変なことです。健常者から障がい者になって、立ち直ることができ

日本の近代化を支えた「炭鉱」。宮若市もその一角を担ってきました。筑豊の風土や人のつながり、人と炭鉱の熱気につつまれたあの時。貝島炭鉱にまつわる作文を通して、当時を振り返ります。(作文の内容については本庁社会教育・文化振興係 ☎32・3210までお問い合わせください)



→ばっちゃんや任げり、コマ回しやたご揚げ、川遊びなど、当時の子どもたちは遊び道具や場所に困ることはありませんでした。

六坑のばあちゃん

作文：山中信弘さん（宮若市宮田）・平成19年筆

私の母の生れ育った所は、旧宮田町の貝島炭砦の六坑三区で、昔は溝之浦と呼ばれていました。その母の母、つまり私のばあちゃんは、今「がばいばあちゃん」で有名な佐賀県の生まれで、あの漫才師の「ミヤコ蝶々」に似ていました。

そのばあちゃんの六坑三区の家は、「山ノ神」と言う神社の下の斜面にへばりつくように建っていました。いわゆるハーマモニカ長屋で、鰻の寝床のような長い家を区切って、数軒の家族が住んでいました。

私の母は、その家から二キロくらいの所にある、私の生まれ育った村に嫁いで来たのです。

私は子どもの頃、よくこの六坑のばあちゃんの家に、遊びに行ったものでした。家から十三仏という祠の前を通り、坂道をだらだら歩き、登りつめた所にたしか桂店という駄菓子屋があつて、その店から今度は急な坂道になつており、坂道の右側に長屋が並んでいました。

ばあちゃんの家は下から三棟目で、家に着くと私は家の入り口の前で、大きな声で「ばっちゃん、来たばい」と叫ぶと、ばあちゃんがにっこり笑って「よう来たねえ入れ」と、言いながら頭をなでてくれたことを鮮明に覚えています。

ます。

その家の前には、共同水道の蛇口がついていました。同じ長屋に住んでいる人たちとばあちゃんが話しながら、炊事をしていく記憶がよみがえってきます。

ばあちゃんの家は大家族でした。伯父、伯母、従兄弟など、十人くらいが住んでおり、泊まった記憶はありませんが、私が帰る時にはいつも当時大好きだった「ばっちゃん」を手渡ししてくれては「またこいよ」と言い、見送ってくれました。

先日、久しぶりにばあちゃんが住んでいたあたりを訪ねると、付近一帯は竹藪になつており、当時をしのぶことはできませんでした。

でも、その場に立つて目を閉じてみると、六坑のばあちゃんの顔が浮かんで来ては、ほほ笑みながら、昔のように頭をなでてくれたような気がしました。

私は後年、貝島炭砦に就職し、その後転職。定年まで働いて、今は当時のばあちゃんと同じくらいの歳になりました。

また、孫も当時の私と同じくらいの歳となっているのですが、ばあちゃんと貝島炭砦の思い出が消えることはありません。

広報担当 林のひとこと

「食」「農業」「飲酒運動撲滅」。そして「障がい者スポーツ」。さまざまなテーマを取り上げましたが訴えようとしているのは、どれも大きく異なるものでなく、「命を大切に生きる」ということではないかと、私自身は考えさせられました。皆さんはどのような感想をお持ちになったか、ぜひお聞かせいただけたら幸いです。市では試行的な取り組みとして、公式アカウントによるフェイスブックを始めました。広報への感想を含め、コミュニケーションを広げるきっかけにしたいだけだからと思います。

体に良いものを取り入れる。家族を大切に。お酒を飲んで運転はしないこと。社会で当たり前前かがみ、あまりに当たり前すぎて、わからなくなっているのではないのでしょうか。ではどうするか。人に会い、話を聞き、そして透明なフィルターを通して発信することしかないように感じます。私も皆さんに情報を届けたいつもりですが、本当に大事なことは、いつも皆さんから教えていただいています。

